

せいしょうねんどくしょかんそうぶんぜんこく
青少年読書感想文全国コンクール

おうぼようこう
応募要項

たいしょうとしょ
対象図書

① 課題図書

しゅざいしや してい としよ かだいとしょ
主催者の指定した図書（課題図書）

- ・同一部内における学年の指定はありません。

② 自由図書

じゆう えら としよ
自由に選んだ図書

- ・フィクション、ノンフィクションは問いません。

- ・教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書は対象としません。ただし課題図書であっても該当の部以外であれば、自由図書として応募できます。

ようし じすう
用紙・字数

① 原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。

- ・使用する原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。
- ・原稿用紙は公式Webサイトよりダウンロードできます。

(青少年読書感想文全国コンクール <https://www.dokusyokansoubun.jp>)

③ 文字数

しょうがっこうていがくねん ぶ ねんせい ほんぶん じ い ない 小学校低学年の部（1，2年生）・・・本文800字以内（740～800字）	} 規定文字数残り 60字より短く ならないこと。
しょうがっこうちゅうがくねん ぶ ねんせい ほんぶん じ い ない 小学校中学年の部（3，4年生）・・・本文1200字以内（1140～1200字）	
しょうがっこうこうがくねん ぶ ねんせい ほんぶん じ い ない 小学校高学年の部（5，6年生）・・・本文1200字以内（1140～1200字）	

④ 句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白箇所は字数として数えます。

⑤ 題名、学校名、氏名は字数に数えません。（枠の外に書いてください。）

⑥ 応募票を記入。作品の一番上に貼り、右肩をとじてください。

なつやすみ 読書感想文全国コンクール

かだいとしょ しょうかい
課題図書を紹介



ねんせい
《1・2年生》

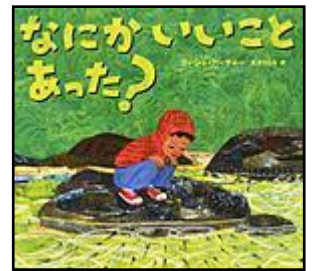


『まこちゃんとコトバロボ』 村上 しいこ 作

ならなんでも教えてくれる“コトバロボ”と出会う。コトバロボに宿題を任せきりにするまこちゃんですが…。

『なにか いいこと あった?』 ミーシャ・アーチャー 作

「なにかいいことあったかい?」 おじいちゃんからそうたずねられたダニエルは、いいことをさがしに公園をめぐり…。



『ララのまほうのことは』 グレーシー・ジャン 作

暑い夏。ララは毎日、空き地や庭の草や葉っぱに、水をあげ、やさしい言葉をかけていました。ところが、いつもどろんこで帰ってくるララはお母さんに怒られ、外に出してもらえなくなってしまい…。

『たねはいのちのおわりとはじまり』 鈴木 純 著

たねの中には、いのちの一步目を踏み出すために必要なものが入っている-。
植物観察家・鈴木純が、植物のいのちのみなもとである「たね」の神秘を紹介する写真絵本。



ねんせい
《3・4年生》



『まだまだここから』 宇佐美 牧子 作

水泳がちょっぴり得意な小学4年生の男の子・蓮に、スイミングスクールの特訓生になるチャンスが訪れた。でも受かったのは、がんばっていた蓮ではなく、弟の凧で…。「がんばる意味」を見つけていく、少年の気づきの物語。

『それからぼくはひとりで歩く』 アリシア・モリーナ 作

ハイメは11歳の男の子。学校のクラスに視覚障害がある子は自分だけ。ある日、初めてひとりでバスに乗って帰ることになり…。ハイメの「見えない」日常を共に感じる物語。





『おいしいお米をつくりたい！ ゆうちゃん、^{しょうがくせい}小学生で^{のうか}農家に^{でし}弟子入りしました』

谷本 雄治 著

^{しょうがくせい}小学生で^{のうか}農家に^{でし}弟子入りし、^{こめ}米づくりを始めた^{はじ}ゆうちゃん。^{がいちゅう}害虫とのたたかい、おそいかる^{たいふう}台風をのりこえ、^{ちくひょう}目標の300キロを^{たっせい}達成できるのか？^{かんぜんむねんじやく}完全無農薬・^{てんびほ}天日干しにこだわる^{ちやうせん}ゆうちゃんの^{ちいき}挑戦と^{ひとびと}地域の人々との^{こうりゆう}交流を描く。

『^{うちゅう}宇宙でウンチ ^{みんなの知らない}宇宙トイレのひみつ』

ビクター・ベルモント A.ポンドー=ストーン, C.ホワイト 作

^{じんるい}人類は^{さいしん}最新の^{かがくぎじゆつ}科学技術を^{くし}駆使し、^{うちゅう}宇宙への^{ぼうけん}冒険をおしすすめてきた。だが^{じつ}実は、^{かがく}科学の^{ちから}チカラでは^{かいげつ}解決できない^{おお}大きな^{もんだい}問題が^{のこ}残されていた…。
^{いがい}意外と^し知らない^{うちゅう}宇宙トイレの^{ひみつ}秘密に^{せま}迫る^{えほん}ユニークな絵本。



《5・6年生》



『ポジション!』 高田 由紀子 作

スポーツは^{にがて}苦手なのに、「^せ背が高いから」という^{りゆう}理由だけで^{ミニバス}ミニバスチームに^{きそ}誘われた、^{しょうがく}小学5年生の^{めぶき}芽吹。友達ができるかもと^{にゅうだん}入団を決意するが、^{うんどうしんけい}運動神経のなさで^{めいわく}迷惑をかけ…。
^{じぶん}自分の^{いばしょ}居場所を^{もさく}模索しながら^{せいちよう}成長していく物語。

『リヒト!』 イノウエ ミホコ 作

「^{りひと}理人、^{さいご}最後に^{つた}伝えておきます」^そ祖母の^{せつ}節さんが^{ぼくに}ぼくに^{たく}託した、^{なかみ}中身の^{わからぬ}わからない^{ふうとう}封筒。
^{せつ}節さんが^{つた}伝えた^{こと}ことは^{なに}何？^{ぎもん}疑問を^{かか}抱えながら、^{ぼくは}ぼくは「^{にがて}苦手な^{あいつ}あいつ」と^{ドイツ}ドイツ
へ^{むか}向かう^{こと}ことになって…。



『ミシュカ』 エドワルト・ファン・デ・フェンデル, アヌッシュ・エルマン 作

^{なんみん}難民になった^{かぞく}家族が^{ようやく}ようやく^{あた}新しい^{くに}国で^み見つけた^{しあわ}幸せ…。^{さい}9歳の^{しょうじょ}少女^{ロヤ}ロヤが、^{うさぎ}ウサギの^みミシュカと^{すご}過ごす^{たの}楽しい^{ひび}日々を描きながら、^{なが}長くて^{たいへん}大変だった^{たび}旅や、^{あた}新しい^{くに}国で^う受ける^{さま}さまざまな^{さべつ}差別といった^{つら}つらさも^{つた}伝える。

『^{いっ}キミの^ぽ一歩 アフリカ ソウを食べるにはひと口ずつ』

味田村 太郎 文

^{みなみ}南^あアフリカに^{しん}赴任した^{NHK}NHK記者が、^あアフリカ^{こく}各国の^{さばく}砂漠化による^{しょくりょう}食糧^{ひんこん}不足や^あ貧困、^{やせい}野生動物の^{ほご}保護といった^{しゃかい}社会問題を^{はいけい}背景に、^あ折り紙、^{チェス}チェス、^{かんきよう}環境活動などの^{とりぐ}取り組み
を通じて、^こ子どもたちが^{ちから}力強く^{いき}生きる^{すがた}姿と^{きぼう}希望を描く。



どくしょかんそうぶん 読書感想文 とらの巻

その1 書きたい本を選ぶべし

自分が書きたい本を選ぶ。感想文を書くまでに3回ぐらいよむといいね。

その2 続きを読みたいと思うような書き出しをすべし

① 1番心に残ったことから書く

例 ・私は、この本を通してお年寄りのこと、家族のこと、そして自分自身の生き方を深く考えさせられた。

② 自分に似ているな、違っているなと思うことから書く

・ぼくは最初、国枝慎吾選手が苦手でした。

③ 自分の生活や体験と結びつけて書く

・わたしは 4さいのおとうとおねえちゃん。

④ 本を読んで新しく気づいたこと、おどろいたこと、興味をもったことから書く

・絶対に正しいかって、本当はどこにもないのかもしれない。

ほかの人が書いた感想文をお手本にすることは良いことですが、他人の作品を無断でそのまま使い、自分の作品にしてしまうことは、ぜったいゆるされないことです。

本に書かれている内容やあとがきを使いたいときは、「」で表し、引用しよう。

その3 中の工夫をすべし

感想文の中心となる場所。本を読んで自分がどう変わったか

書いていこう。

その4 おすすめの工夫をすべし

いよいよ最後。書き出しの文をまとめて、びしっと決めよう

その5 題名の工夫をすべし

～を読んではおもしろくない。何が一番こころにのこったのか

表現しよう

例 時をこえた友情・心の中のしらんぷり

